

平成22年10月14日

各 位

中央三井トラスト・ホールディングス株式会社
(コード番号 8309 東証第一部)

平成23年3月期 第2四半期(中間期) 連結業績予想の修正について

平成22年5月14日に公表した平成23年3月期第2四半期(中間期)の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたします。なお、当社単体の業績予想及び配当予想に関する修正はありません。

記

1. 平成23年3月期 第2四半期(中間期)連結業績予想

(1) 第2四半期(中間期)業績予想(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(単位:億円)

	経常収益	経常利益	中間純利益
前回予想(A) (平成22年5月公表)	1,700	420	220
今回予想(B)	1,800	500	310
増減額(B-A)	100	80	90
増減率(%)	5.9	19.0	40.9

(2) 修正の理由

当社の銀行子会社である中央三井信託銀行の利益水準が、市場関連収益や与信関係費用の改善を主因として、当初計画を上回る見込みとなったことを踏まえ、前回予想を修正するものです。

2. 平成23年3月期 通期連結業績予想

平成23年3月期通期の業績予想につきましては、現時点において修正はありません。

以 上

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、決算の確定時点まで、様々な要因により変動する可能性があります。

(ご参考)

平成23年3月期 第2四半期(中間期) 業績予想の概要について

1. 銀行子会社2社(中央三井信託銀行単体・中央三井アセット信託銀行単体)合算

中間業績予想(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(単位:億円)

	前回予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)
実勢業務純益	550	590	40
経常利益	420	480	60
中間純利益	270	360	90
与信関係費用(△)	50	△ 50	△ 100

- ・実勢業務純益は、市場関連業務の収益が順調に積み上がったこと等により、前回予想比40億円増加の590億円となる見込みです。
- ・与信関係費用については、新規の貸倒れ件数が減少したこと等により、50億円の戻入れ(増益要因)となる見込みです。
- ・上記要因等により、経常利益は前回予想比60億円増加の480億円、中間純利益は同90億円増加の360億円となる見込みです。
- ・なお、平成23年3月期通期の業績予想につきましては、現時点において修正はありません。

2. 金融再生法開示債権の見込(平成22年9月末、中央三井信託銀行単体)

銀行・信託勘定合計

(単位:億円)

	22年3月末実績 (A)	22年9月末見込 (B)	増減額 (B-A)
金融再生法開示債権	1,182	1,000	△ 182
不良債権比率(%)	1.2	1.0	△ 0.2

3. その他有価証券評価損益の見込(平成22年9月末、当社連結)

(単位:億円)

	22年3月末実績 (A)	22年9月末見込 (B)	増減額 (B-A)
その他有価証券評価損益	470	180	△ 290
株 式	730	170	△ 560
債 券	△ 36	0	36
そ の 他	△ 223	10	233